

徳川家康って どんな人だった？

幼少期は人質生活で苦労した人物で、恰幅が良く、筋肉質な体つきをしていたという。老獪な知恵で天下を取った

徳川家康は、幼少のころに織田氏や今川氏の**人質**となっていた。以来、19歳まで不自由な生活を強いられていた。この人質生活を通じて強い忍耐力、鋭い洞察力、そして処世術を身につけたといえる。

家康は、非常に**健康**に気をつけていたようだ。

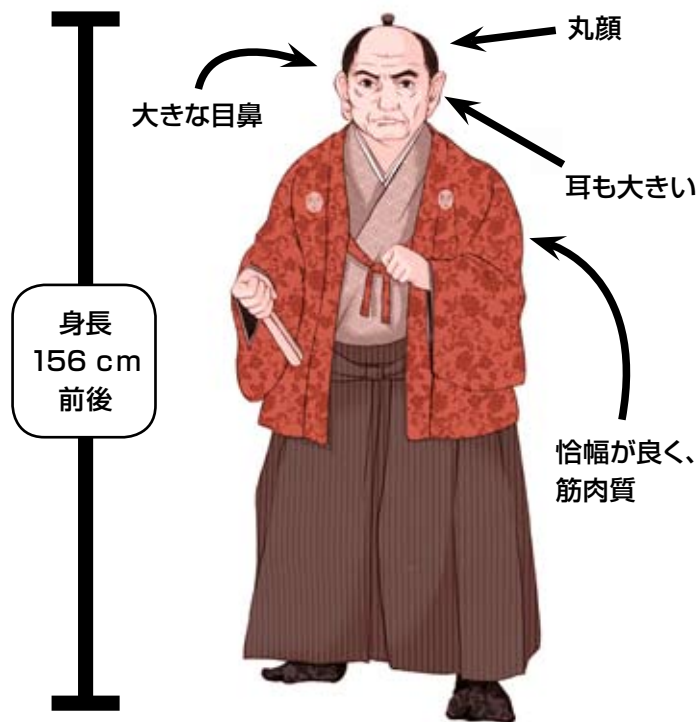
食べ物は質素なものを選んで、豪華な食事をなるべく避けるようにしている。さらに、漬物の塩分にも気をつけていたという。また、**生薬にも精通**しており、自分で調合していたとも伝えられている。

身長は156cm前後で、日頃から体を鍛えていたため恰幅かつぶくはかなり良かった。丸顔で大きな目鼻が特徴で、筋肉質な体をしており、**三河武士**みかわぶしの力強さを体現するような体つきだった。家康の体格は織田信長や豊臣秀吉と比べても、力強さに溢れるものだったという。

家康は律儀でまじめな性格で、今川義元、織田信長、豊臣秀吉に忠実に従い、力をつけていった。

ところが秀吉がこの世を去ると、君子豹変くんしひょうへん、天下を目指して強引な行動に出るのである。臨機応変、機を見て敏とは、まさに家康のためにある言葉ともいえよう。

徳川家康の体格



(((((((((((**知ったかぶり度チェックテスト**))))))))))

Q1 徳川家康が人質となっていたのはどこ？

- ① 武田家 ② 今川家 ③ 足利家

Q2 徳川家康の身長は大体何 cm 前後だった？

- ① 156cm ② 186 cm ③ 206cm

江戸の職業事情

江戸では大工をはじめとする建築関係の職業の人气が高かった。行商人もバラエティに富んでいる

江戸庶民の1番人気の職業は**大工**だった。火事が多かった江戸では、火事からの復旧のたびに大工が活躍したのである。そのため、大工以外にも壁塗左官かべぬりざかんなど、**建築関係の職業**の人气は高かった。また水運に優れた江戸の町だったためか、船大工も庶民のあこがれの職業だった。

大工関係以外には、**行商人**が江戸には多かった。野菜や豆腐を売るものもいれば、七味唐辛子や冷たい水を売って回るものもいた。基本的には、油や炭、味噌、醤油など**日常生活**に欠かせない商品の行商人が多い。ただ、行商人はバラエティに富んでおり、でんでん太鼓やシャボン玉、下痢びわようとうなどに効くとされる枇杷葉湯などを売っている町人もいた。

飲食業を商う人も多く、店を構える人もいたが、屋台を出す人も多かった。屋台で人気だった食べ物屋は、**天麩羅**てんぷらやそばで、ほかにもよしず張りの**水茶屋**などがあつた。水茶屋とは今でいう喫茶店のような場所である。

また、江戸の下町で海や川に近い場所では**漁師**も多かった。アサリやシジミのほか、東京湾でとれる魚を売って生活していた。東京湾でとれた魚は天麩羅や寿司のネタにされて、江戸の人々の胃袋を満たした。

町人のおもな仕事



大工



行商人



漁師



飲食業

(((((((((((**知ったかぶり度チェックテスト**))))))))))

Q1 江戸で1番人気だった職業はどれ？

- ①八百屋 ②漁師 ③大工

Q2 江戸時代の屋台で売られていたものはどれ？

- ①ラーメン ②天麩羅 ③アイスクリーム